

平成23年6月17日

総務大臣 殿

埼玉県入間市高倉5-17-27  
株式会社エフエム茶笛  
代表取締役社長 荻野喜美雄

番組審議会議事録の提出について

標記について、下記の書類を放送法施行令第5条第3号の規定により提出します。

記

番組審議会議事録(平成23年5月30日開催)

# 株式会社エフエム茶笛

## 平成 23 年度第 1 回番組審議会議事録

1. 開催年月日：平成 23 年 5 月 30 日（月）17 時 00 分～18 時 00 分
  
2. 開催場所：株式会社エフエム茶笛 2階 会議室
  
3. 委員の出席  
委員総数：7 名  
出席委員数：5 名  
出席委員：大山博（番組審議会委員長） 細田和男 小林昌幸  
宮岡利雄 飯島静江  
放送事業者側出席者：代表取締役社長 荻野 喜美雄  
専務取締役 東 たか子  
営業課長 宮岡 洋明
  
4. 議 題：番組内容について
  
5. 議事概要：議題に沿って各委員お一人お一人の放送聴取の感想・意見・疑問点などを挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行、必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答しながら会を進めた。

## 6. 審議内容

委員長：これより各委員からご意見をいただきます。

委員：東日本大震災の当日、所沢市内の病院で地震に遭いました。自宅の火災や道路の寸断などが気がかりでしたので、家路につく車の中でFMチャッピーの放送を聴きました。消防で入手した火災なしの情報や、交通情報を聴き、安心しました。今回の震災を通してFMチャッピーを聴いた方が多いと思いますが、一人でも多くの方が、FMチャッピーを役立てていただければ良いと思いました。しかし、放送中に音楽を挟んで情報をアナウンスしていましたが、とても私は音楽を聴く気にはなれず、音楽が流れている間は別のラジオ局を聴いてしまいました。情報量が少ないことが原因だと思うのですが、同じ内容でも繰り返しアナウンスしていただいた方が、市民は安心できると思います。

委員：震災当日は、他局も含めラジオを聴いていました。渋滞の中でイライラしながら聴いていましたが、FMチャッピーで流していた音楽を聴いて私はリラックスできました。

事業者：災害発生時の情報アナウンスにおいて、合間に音楽を流す場合、次のアナウンスを何時何分におこなうかを伝えることが必要でした。選挙の開票速報にも同じことが言えます。

委員：震災後、数日経過すると、買占めによる生活物資の不足やガソリンスタンドへの給油が殺到するなどの状況を受け、それらの品に関する地域での販売状況を具体的な店名を交えて放送していましたが、リスナーがその情報を周囲の人達へ伝えていく中で、誤った情報に変わってしまったり尾ヒレが付くなど、結果、誤報に繋がる危険はないのでしょうか？固有名詞を使って放送する必要があったのか疑問に思いました。

委員：今、他の委員さんから誤報の話がありましたが、茨城県つくば市のコミュニティ放送局「ラジオつくば」への取材では、デマや誤報に関する経験談を聴きました。ガソリン入荷情報のアナウンスは、確かにガソリンスタンド周辺の渋滞を生み出すこともあります。ガソリンスタンド近隣の渋滞情報を放送することで、渋滞緩和を促すことも出来るわけで、情報の扱い方でリスナーの捉え方も変わるということを感じました。

事業者：渋滞の原因になるからガソリンスタンドの店名を流さない方が良いのか、だから漠然と流すのか、漠然と放送するなら放送自体が出来ません。被災地ではすべて固有名詞を使って情報を伝達しています。正しい固有名詞を用いて情報を流した結果、渋滞等の影響がでるかどうかは、また別の話です。我々は情報を正確に流すことが一番重要で、「言い切った」報道を行うことが大事と考えています。

委員長：震災当日の業務において、どんな良かった点、悪かった点がありますか？

事業者：直接の被災経験もなければ、今回の震災のような間接的な災害による影響についても全く予測がつかなかったため、大変苦労しました。特に震災発生当日は、電話・ファックスが不通の中、情報収集の方法が、当初、市役所庁舎や消防との行き来しかなく、一度スタッフを行かせてしまったら、携帯電話も不通ですので当人がスタジオに戻ってくるまで連絡が取れないというのが困りました。緊急割り込みシステムを使用することはありませんでしたが、一般電話が不通なら使用すること自体ができません。入間市広報広聴課とは、電話回線が復旧後に防災行政無線の内容と連動した放送を実施していました。

委員：社員が災害情報のアナウンスをしていましたが、情報が限られている中で鮮度の低くなってしまった情報を放送し続けていたのが気になりました。22時以降の夜間の社員による放送については一部聴きづらい社員もいます。くだけた言葉遣いや数秒の無言の時間があるなど、更なるアナウンスの訓練が必要であると感じました。また、情報入手の方法については、例えばホットラインの構築のために衛星携帯電話など機材の充実を図るなど、経営状態を鑑みながらも今後の研究課題なのではと感じました。

委員：震災後の計画停電期間では、夜の3時間の停電時間の間、FMチャッピーの放送にほっと安心しました。このような時にこそラジオの力を感じました。いずれ発生するであろう関東での大震災級の地震災害に向けて、想定外で片付けないように準備を進めていただけると市民としては安心です。

委員長：出席委員の皆様ありがとうございました。これにて議事を終了させていただきます。

(以上で議事終了)

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

審議機関の答申又は改善意見の内容	事業者による対応措置	対応措置の実行年月日
特になし	特になし	

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

本議事録を、下記の日時、方法にて公表・閲覧可能と致します。

・6月20日より、弊社ホームページ（URL <http://www.fmchappy.jp>）にて掲載。

9. その他の参考事項

特にありません。

以上

社名	株式会社エフエム茶笛
----	------------